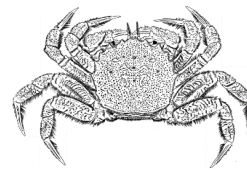


27.ケガニ

主な漁業と漁期
けかにかご：6月下旬～7月上旬



噴火湾海域

生態

◆分布・回遊

雌雄ともに季節的な深淺移動を行い、1～5月は水深20～60m、9～10月は水深60～70mが主分布域となります。漁獲対象サイズ（甲長8cm以上）の雄は大きな水平移動をしますが、胆振太平洋海域から本海域へ移動する個体があります。

◆産卵期・産卵場

◎産卵期：7～8月と11～翌4月の2群があると考えられます。幼生ふ化期は1年以上経過した3～4月です。

◎産卵場：不明ですが、抱卵個体は噴火湾湾奥部に多く分布します。

◎産卵生態：交尾・産卵はメスの脱皮に合わせ2～3年ごとに行われます。交尾から産卵までは半年以上を要し、メスは産卵後、受精卵を自分の腹肢に付着させ、幼生がふ化するまで保護します。

◆成長・成熟

| | 甲長(mm) | | 体重(g) | |
|----|--------|----|-------|----|
| | オス | メス | オス | メス |
| 2歳 | 49 | 42 | 68 | 39 |
| 3歳 | 61 | | 135 | |
| 4歳 | 74 | | 239 | |
| 5歳 | 87 | | 393 | |
| 6歳 | 87 | | 393 | |
| 7歳 | 101 | | 612 | |
| 8歳 | 101 | | 647 | |

*) 2001～2013年の測定データ、三原ら(2016)、Abe(1992)より
*) 加齢の基準日：4月1日

◎成熟年齢・甲長

- ・オス：甲長49mm、2歳から成熟する個体が見られます。
- ・メス：甲長42mm、2歳から成熟する個体が見られます。

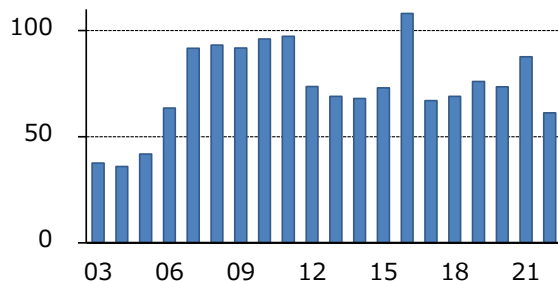
資源評価

[評価年] 4月～翌3月

[資源水準の指標] 資源調査による資源量指数

2022年度の漁獲量は61.2トンで、前年から減少しました。2022年度の資源水準は中水準と判断され、資源調査結果から翌年にかけての資源動向は増加と判断されました。近年の許容漁獲量は漁業経営への配慮等からABC目標値に対して高めに設定されることがあり、資源減少へのリスクが懸念されます。資源状態に見合った資源利用を図っていく必要があります。

漁獲量 (トン)



2022年度
の水準



中水準

2023年度
の動向

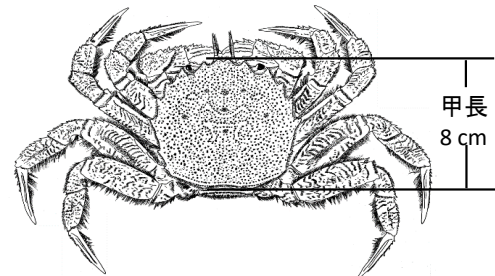


増加

資源の維持・増大のために！

資源管理の現状(主なもの)

- 北海道漁業調整規則
メス、および甲長8cm未満のオスの採捕が禁止されています。
- 許可の条件等
知事許可による試験操業に限定されており、許可隻数、漁期、かご数・目合の制限をしています。また、毎年の資源評価に基づき、許容漁獲量を定めています。



☆今後の資源動向に注意するとともに、資源状態に見合った資源利用を図っていく必要があります。

問い合わせ先

北海道水産林務部水産局漁業管理課資源管理係
北海道立総合研究機構 栽培水産試験場調査研究部

電話 011-204-5477
電話 0143-22-2327